



宵 の 宴

第
貳
夜

成人向
For Adult Only



■目次

- 01p 表紙
- 03p 中表紙
- 04p 目次+前書き
- 05p 本文
- 17p あとがき
- 18p 奥付
- 20p 裏表紙

■前書き

初めまして、そうではない方はお久しぶりです
これを読めている場合は、2年ぶりの個人誌になります。
今これから本文にはいります。7/29日の4時30分です。
仕事がきつくて気がついたらコミケ前だったので
コピー本でいいかなあとかおもってた8/8までいける印刷所
を教えてもらえたので覚悟完了して申し込むことにしました。

この本のタイトルは宵の宴-第貳夜-なのですが、実は準備号として
2010の冬コミにナズーリンの獣姦物をだしています。

なので、アレ？と思う人がいるかと思いますが、そちらのほうは
参か肆あたりで出せればと思います。

なんというか、仕事しながらこの状況で本がつくれるなら
今後出し続けることができるような気がしてきました(7/30)

8/3追記 やっぱり働きながらでは無理だったよ…
漫画からイラストに変更するんだよ(最初から

「報告があつたのはこの辺かな？」

最近村人が『ミミズ』のような蟲に襲われるという事件が相次ぎ、
靈夢から『蟲の親分なんだからなんとかじてこい』と無茶振りされてしまひ
断りきれずにしぶしぶきたものも何もない……

ヤマメという妖怪が住む地底の入り口付近なのだけ……

「あれ？ 洞穴のある場所に何で岩が？」

ふと触ってみると弾力性のあるもので
意外な感触に思わず固まつてる間に
岩の周りから触手が生えてきて
襲われてしまった

「ひっ!?」

抵抗したけれど口に突っ込まれて
良くわからないものを飲まされて意識を失った

「んう…」

気がつくと洞窟の中なのか薄暗い…

先ほどの岩に触った時触手が体に巻きついてきたので
おそらくあれが霊夢のいうところのミミズだったのだろう。
となるとここは先ほどの洞窟の中だろう

「体がなんか熱いし…あまり力がでない」

あの後何をされたのかあまり覚えてない
液体を飲まされて意識を失ったけど
特に何かされた様子はない
服着てないから少し寒い

「…何か胸大きくなってる気がする」

あれから散々触手で体中を弄くり回され我慢ができなくなつた頃にヤマメがでてきた

『おや：目が覚めたみたいだねここに妖怪が来るのは初めてだ』

元々はミミズだった事最近巨大化して

村人を襲うようになった事

洞窟の出口で張っているもんだから私も外にでられなくて困ってたんだと説明をもらったが

頭の中が朦朧としている私には半分も頭に入らなかつたそれに誰かを襲っている時は

他の雌は襲わないらしい

「あああああああああああああ
クリばかりいじつちやダメつまたいくっ
『っ：!?すごい潮吹き』」

話を聞いてるうちにまたいってしまったたらしく

潮を吹いてしまった

潮吹きに満足したのか触手が離れていく



：聞く余裕はなさそうねと
ヤマメが距離をとったと同時に
自分の腕と同じくらいの太さ：
それ以上の男性器のような触手が目の前に現れた

『この触手はね：

雌の胎内をほじくって

たっぷり子供を残すのが好きなのよ？』

ヤマメの声にあわせるかのように
そのまま先端を入り口に押し当てて：

「ひっ…こんなの無理っ」

そんなことお構いなしに触手が
中にはいって来た



はじめてだったけど
散々弄られ解された箇所は痛みを感じず

「ひっ…な、なかにはいってきちゃう…」

「そ、そんな大きいのはいらぬい」

私の台詞など気にせず触手はいつてくる

なかで広がってあつというまに奥。子袋をノックしてる

血がでていけるけど出続ける愛液でうすくなつてきてしまった

『おや：初めてだったのかい
でもそんな気持ち良さそうな顔してるなら問題ないね
今まで触手が邪魔してて外にでれなかつたから
巫女でも呼んであげる』

そういつてヤマメは何処かに消えた

あれからどの程度時間がたったのかわからないけど
何度もイカされて……

失神するたびに子袋を思いっきり押し付けて
また失神するまで生かされ続ける

「っ……田な、なかでイボイボがつ
あ……だ、だめっ……いぐっ……」





「っ、中がふくらんで……
前のと混ざり合ってまたイクっ」

熱いのがまた中ででてる。
初めて出された時は中で跳ねる精液でいかされて
2回目以降は前に出された精液と混ざる時に
熱を感じていかされる

完全に抵抗する気力がなくなった私に
飽きたのか前にさして触手を抜いてくれた

でも奥にまた新しい触手が見える…

この後私は…どうなるんだろう

と…ぼんやりと思いつつまた失神してしまっただー



久しぶりの青空…
太陽が少しまぶしいけど…
とりあえず言った手前
巫女を呼びにいくか…と思ったところで
触手に襲われた

『な…なんでこんな外に触手が…!?!』

私の抵抗も虚しく服がびりびりに破がれていく

口に何か突っ込まれたところで意識を失ってしまった…



気がついたら私の隣にヤマメがいて
ヤマメも同じように
気持ちよさそうな声をあげていた

いつの間にか卵を
うみつけられたのかお腹が膨らんでいた

お腹でうごいてるから
そろそろ子供が生まれると思う

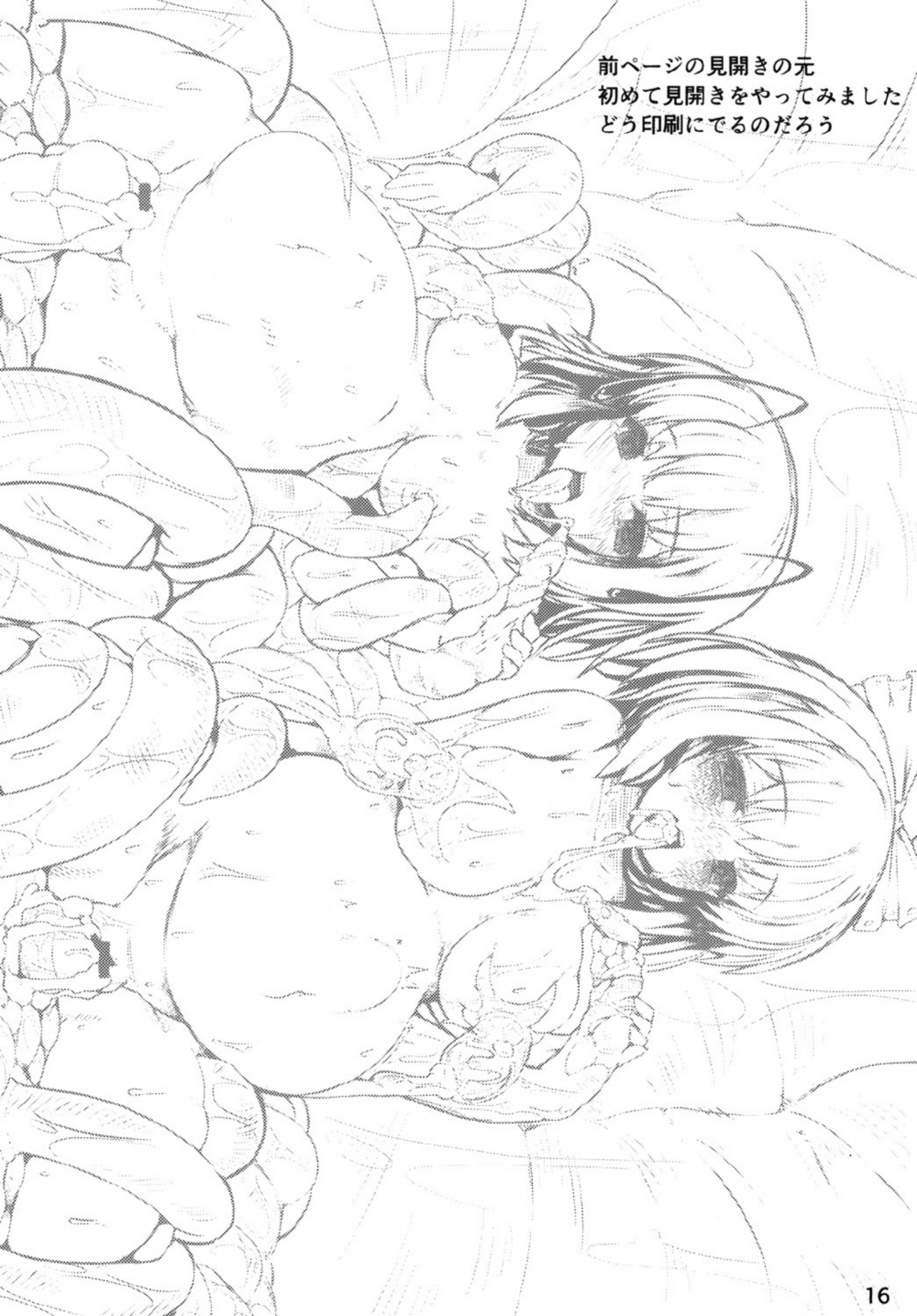


早く霊夢さん助けに
来ないかなあ…と思ったけど

今おなかにいる子供が
大きくなるまでは親がここに
いるから助けは当分あとに
なるのかなあ…とおも
いつつ今を楽しむ事にした



前ページの見開きの元
初めて見開きをやってみました
どう印刷にでるのだろう



■後書き

お疲れ様です…このたびは手に取っていただき
ありがとうございます

eigetvです入稿3時間前でございます

前書きにもありましたが当初漫画を出すつもりで
進めてましたが無理だと判断して
イラストに切り替えました

この本が手元にあるということは無事入稿
黄色紙をもらうことなく出せたということになるのかな
と思います

今回はイラスト本になってしまいました
今後は漫画で出していけるようがんばります。
ヘルプで手伝っていただいた夜光さんありがとうございます!

冬は今のところ未定なので次回は夏かサングリになるかと思えます
また何処かでお会いできるのをお待ちしております

製作期間が4日だったのでgdgdになってしまいました
また手にとっていただければ幸いです

元々この本は通販するつもりがないので会場限定本になるのだけど
おまけ折本つける必要はないのかもしれない。(製作中)

■奥付け

発効日: 2012年 8月11日

印刷: するる(太陽出版)様

製作者: eigetu

サークル: Contamination(コンタミネーション)

mail: k_a_eigetu@hotmail.com

Homepage: <http://connyac.blog123.fc2.com/>

PixivID: 2247

TwitterID: 8ge2

18歳未満の購入を禁じます
無断転載を禁止します

(c)上海アリス幻楽団



Contamination